

# かまにし

## 第89号

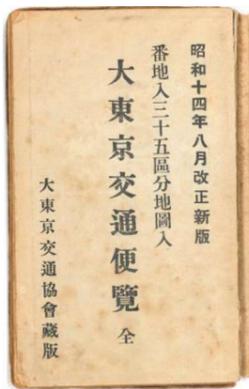
発行 地域力推進蒲田西地区委員会  
編集 地域情報紙編集委員会

### 「ご存じですか？」 大東京交通便覧

#### 大東京交通便覧とは

自宅を整理していると、ふと見つけたのは「大東京交通便覧」であった。ポケットサイズの交通案内ハンドブックであり発行されたのは昭和一四年八月、今から八四年前である。

当時の東京には三五の区があり、交通便覧を開いてみると、三五区それぞれの町名や最寄りの停留所、停留所からの距離や、行きたい町までの利用線（市電、省線、市バスなど）が一覧で確認できる。路線図が記された地図もあわせて見ることができ、当時の人々は、これで目的地までの経路を調べていたのだらう。紙面は茶色く黄ばみ、手に持つと今にもバラバラに崩れそうなど長い年月が感じられた。そして読み慣れない文字からは、当時の時代を彷彿させた。



標題紙の写真

#### 東急多摩川線の成り立ち

「大東京交通便覧」昭和十四年八月改正新版の中から、多摩川線を紹介する。

昭和十四年、東京横浜電鉄と目黒蒲田電鉄が合併し、昭和十七年に東京急行電鉄になった。現在、よく知られている「東急電鉄」の前身である。

東急多摩川線は、多摩川駅と蒲田駅を結ぶ東急電鉄が運営する鉄道路線で、全区間が大田区内に所在している。田園調布開発のために設立された目黒蒲田電鉄が最初に開業した路線の一部であり、東急の発祥路線でもある。

以下、駅舎ごとに紹介していく。

〔蒲田駅〕大正十二年十一月、丸子と蒲田間開業（全通）目蒲線に改称。ちなみに同年十月には目黒不動前駅が不動前駅に改称された。

〔矢口渡駅〕昭和五年五月、矢口駅を矢口渡駅に改称。

〔武蔵新田〕大正十三年四月、新田駅を武蔵新田駅に改称。

〔下丸子駅〕大正十三年五月、下丸子駅開業。

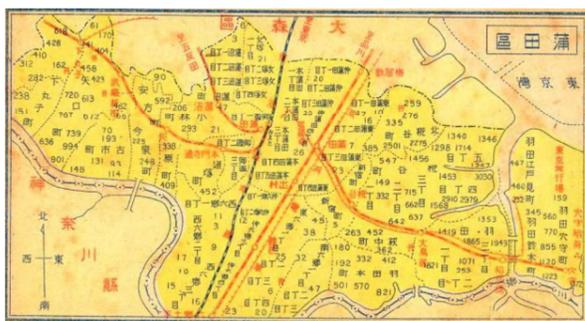
〔鶉の木駅〕大正十三年二月、鶉ノ木駅開業。昭和四十一年、鶉の木駅に改称。

〔沼部駅〕大正十二年三月、目黒と丸子間に新線が開業され、同時に丸子駅が開業を迎えた。大正十三年六月、丸子駅を武蔵丸子駅に

改称。大正十五年一月、沼部駅に改称。

〔多摩川駅〕大正十五年一月、多摩川駅を丸子多摩川駅に改称。昭和六年、多摩川園前駅に改称。平成十二年八月、目蒲線が目黒線と東急多摩川線に分離され、目蒲線（目黒と蒲田）のうち、多摩川と蒲田間が東急多摩川線となり、同〔本門寺道駅〕大正十四年十月、矢口（現在の矢口渡駅）蒲田間に開業。昭和十一年、道塚駅に改称。

道塚駅は、現在の東矢口三丁目二十七番地辺りにあった。昭和二十一年、矢口渡と道塚と蒲田間休止。翌年廃止。矢口渡と蒲田間の新線開業。



蒲田区の地図

#### 多摩川線の名称

多摩川線ではなく会社の略称「東急」を含めた「東急多摩川線」が正式な路線名称であり、車内の自動放送や路線図においても必ずこのように呼ばれている。

これは、すでに都内に存在していた西武多摩川線との混同を防ぐためと、同じ読み方である「玉川線」及び「新玉川線」という名称がかつて東急に存在しており、それを区別するためでもある。

（取材 高橋委員）

「かまにし17」をお読みいただき、ありがとうございます。情報紙に対するご意見やご感想、または投稿などございましたら、お気軽に事務局までお寄せください。

事務局 蒲田西特別出張所  
大田区西蒲田七-1-1  
電話 3732-4785

#### 蒲田西特別出張所管内

人口	男	32,490人
	女	30,176人
	計	62,666人
世帯	37,364世帯	

令和6年2月1日現在

「かまにし17」でウェブ検索するとカラー版を見ることができますよ！



#### わがまらの顔

### 歌手、女優、慈善活動家

## 宮城まり子

人気女優であり、NHK紅白歌合戦に八回も出場した人気歌手でありながら、芸能活動を事実上やめ、日本初の民間福祉施設を設立した宮城まり子さんは、東京都東区市蒲田区（現・東京都大田区）で二人姉弟の姉として生誕、幼少期は西蒲田で過ごしました。

父親は町工場を経営、母親は静岡英和女学院から東京女子大学に進学した女性でした。父親の仕事の関係で小学校三年から大阪で育ちました。小学校五年の時、父親が事業で失敗し、母親は病死。そのため、小学校卒業と同時に弟と共に吉本興業に入り、歌謡曲を歌うようになりました。一七歳で大阪花月劇場にて初舞台を踏みしました。その後、父親、弟と上京し、浅草の舞台に立ち、翌年、菊田一夫の推薦で日劇の舞台に主役として迎えられました。その後、テイチクからデビューし、ポリドールを経てビクターに移籍、「毒消しやいらんかね」が流行し、一躍歌手として名が知れ渡ったのです。その他にも「ガード下の靴みがき」

「納豆うりの唄」「てんでん娘」 「夕刊小僧」などヒットを連発。NHK紅白歌合戦は昭和二九年から昭和三七年まで八回の出場です。その後、女優業に進出し「一二月のあいづ」で芸術祭賞、「まり子自叙伝」でテアトロロン賞を受賞しました。事実上、芸能活動を辞めた宮城まり子さんは、昭和四三年、日本で初めての肢体不自由児の養護施設「ねむの木学園」を設立しました。母親の優しい人を思いやる気持ちの教への影響を受けついでいたのでしょう。

ねむの木学園では、障がいのある全ての子ども達の才能を信じて、隠れた能力を引き出すべく個性の尊重と豊かな人間性を培うことをねらいとした、無学年制の開かれた教育体系を実践しています。感性と感受性を大切にすることで、集中力を養う教育は、絵画、音楽、ダンス、作文、茶道、工芸などにおいて特に成果が大きく、パリ市立近代美術館での美術展やコーラスとダンスにおける芸術祭賞の受賞に結び付いています。



子どもと接する宮城まり子さん

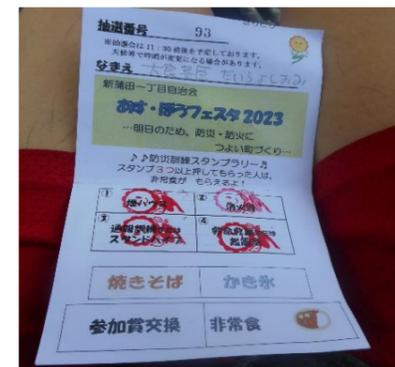
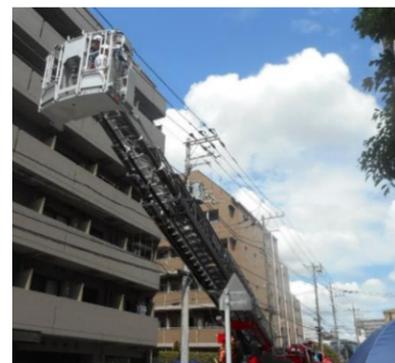
「だめな子なんてひとりもない」これは、創立者である宮城まり子の叫び続けた言葉です。すべての人々に対して、その能力をいかし、人として正しい生活を送ることができるようになるのが福祉ならば、福祉は文化であり、文化は福祉にあると信じます。文化賞では、数々の賞を受けましたが、栄典では二〇〇四年東京都名誉都民、二〇一二年瑞宝小綬章を受賞しました。二〇二〇年三月二一日、悪性リンパ腫のため東京都内の病院で逝去。九三歳でした。

今回、宮城まり子さんの取材にあたって、素晴らしいバイタリティーとエネルギーを感じました。引き続き、これからも宮城まり子さんとねむの木学園の取材をお届けいたします。

（取材 伊藤・中田委員）



雨が降らなければ境内や道路で煙体験、スタンドパイプ体験、東京都消防庁所有の「まちかど防災体験車」のデモンストレーションなど盛りだくさんのプログラムだったのに前夜から大雨で開始時刻にも雨は止まず、やむを得ず屋内行事のみで実施しました。写真ではわからないかもしれないけれど外は大雨です。午前中に訓練終了、午後は快晴でした。(涙)



**安方南町会 防災訓練スタンプラリー** 令和5年10月15日 安方神社社務所  
東京都総務局からVR避難訓練機器を持参いただき参加者は仮想空間で避難を体験(左上)救命救急(中上)通報訓練(右)煙感知器の説明(中下)最後に来てくれた小学生は子供用防災服を着てニッコリ(左下)

**新蒲田一丁目自治会 あす・ぼうフェスタ 2023** 令和5年8月6日 新蒲田公園  
予約制ではしご車に乗ることができました 最初はゆっくり(左上)ビルより上へ(中)上がる貴重な体験 受付するともらえる参加票(左下)、お子さんの打ち水(右上)、新蒲田一丁目自治会旗が可愛い(右下)

**四町会の  
防災訓練**

**西蒲田六丁目自治会 家族で学ぼう! 防災訓練** 令和5年11月12日 ジュニア公園  
4つのグループに分かれます(左上)地域を守るD級ポンプ隊員(制服の女性)が紹介されました(左下)起震車体験コーナーで地震を体感(右上)初期消火訓練コーナーでは消火器の扱い方を訓練しました(右下)

**多摩川二丁目町会 防災訓練** 令和5年11月19日 諏訪神社  
小さい妹がスタンドパイプの筒先を持ち兄が水出し、皆で応援(左上)、炊き出しを覗き込む子供(左下)閉会式で消防署、消防団、蒲田西特別出張所、町会長があいさつ(右下)、全10品の豪華な参加賞(右上)



取材 大良編集委員

